

えりも町議会

議会だより

令和3年2月1日

No.36

P2 令和2年度12月定例会
議長年頭の挨拶

P9 所管事務調査

P3-8 一般質問7名 12件

P10 「乙の人に聞く」
えりも町商工会
川村事務局長にインタビュー

えりも観光協会では、令和2年12月23日から令和3年1月5日の間、襟裳岬風の館にてイルミネーションを実施しました。今年は初日の出が見られませんでした。灯台の明かりと共に幻想的な雰囲気醸し出していました。今後の観光事業にも期待するところです。



えりも町議会第6回定例会

補正予算

◎令和2年度 一般会計(歳出)

- ・財政調整基金積立金等
1億2500万円
- ・ふるさと納税寄付金の一部を積立

- ・簡易水道特別会計繰出金
93万1千円

- ・新型コロナウイルス感染症対策として実施した簡易水道使用料減免による減収額の確定に伴う追加計上

- ・家庭用飲用井戸水等整備費補助金
150万円

- ・簡易水道未給水区域等で整備費用の一部を補助する制度を新設

・風の館管理運営費

500万円

- ・新型コロナウイルス感染症予防対策として、和式トイレ5か所を洋式化する費用

全員協議会で町と協議

◆えりも町新型コロナウイルス感染症に係る事業継続追加支援給付金

特に大きな影響を受けている事業者に対して必要な追加給付を行い、その影響を最小限にとどめる

- ① 給付対象 町内の宿泊、飲食、旅客運送業者
- ② 給付金 1件 20万円
- ③ 給付年月 令和2年12月

◆えりも町新型コロナウイルス感染症拡大防止追加支援補助金

感染症拡大防止対策のため、消耗品購入に要した経費に追加補助を行う

- ① 補助対象 町内の宿泊、飲食、卸・小売業者など
- ② 補助額 宿泊、飲食業者 1件につき上限5万円
その他の事業者 1件につき上限3万円

- ③ 交付年月 令和3年1月以降

【年頭の挨拶】

えりも町議会議長 石川 昭彦



新春を迎えるにあたり、一言ご挨拶申し上げます。さて昨年は、新型コロナウイルスが世界中に蔓延し、コロナという言葉を聞かない日は一日もない一年間になってしまいました。町内の行事も、春のうに祭り、夏の灯台まつり、秋のフェスティバル、このえりもの3大祭りを含めほぼ全ての行事が中止となり、町民の皆様には、寂しい思いをされた方も数多くいらしたのではと拝察いたします。不自由な生活を強いられていますが、コロナとの戦いはまだ続きそうです。くれぐれもご自愛下さい。

えりも町の主産業であります漁業も、総体としては年々水揚げは減少しつつあり、中でも秋サケ定置網漁の不振は数年にわたり特に心配されます。サケや昆布の不漁は、関連する人が多くいますので、町にとって重大な関心事です。原因の特定と対策が急務と考えます。

また、農業は牛ヨーネ病の発生により、農家数と飼養頭数の減少から立ち直ることが出来ない状態が続く、生産者の努力とともに関連団体の更なる支援が必要と思えます。

この度のコロナ禍で、最も影響を受けているのは商工業者であり、人口減少の中で追い打ちをかける形となつてしまいました。特に、観光や飲食業への打撃は大きく、支援が必要と考えます。更に建設や土木に携わる業者の方々も、年々公共事業が減少し厳しさが増している状況であります。苦しいことばかりの羅列となりましたが、この苦境を脱するためには町民皆様には出来るだけ町内での消費に努めていただきますようお願いいたします。

大変な時代ですが、私たちの先人が荒波に舟を出し、未開の地を切り開いたことを思えば、さほどの困難でもないと思えます。私たち議会としても、引き続き町発展のため全力を尽くしてまいります。

結びになりますが、町民各位のご健勝とご活躍を心からご祈念いたしまして年頭のご挨拶いたします。

一般質問

一般質問は、議員にとって、住民から重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動の場です。町政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求め、議員自らの政策提言を行い政治姿勢を明らかにするものです。



橋本 維応議員

問 建設関係申請等の電子化は

答 時代の流れに遅れることのないように取り組む

問 橋本 議員

国土強靱化新5か年計画では、建設分野のデジタル化を推進する内容が盛り込まれる見込みであるが、

① 当町で建設関係の

電子申請をできるようにしては。

② 浦河町、新ひだか町では、道の建設技術センター入札参加共同審査の電子申請方式に移行する見込みであるが、当町もこの計画に参加する考えはあるか。

③ 電子申請方式は、時間の制約も緩和され当事者双方にメリットがあるが、電子化を推進していく考えは。

答 建設水道課長

① 電子申請サービスは、届出様式の取得のみ可能で、申請までは活用していない。

今後、電子申請が拡大する中で、建設関係の事務についても電子化されると考えている。

② 入札参加共同審査

の電子化は、モデル事業として道内15の市町が参加しているが、モデル事業の結果を踏まえ検討していく。

③ 建設関係の事務の

電子化は大きく動いており、この流れに遅れることのないよう取り組みを進めていきたい。



コロナ禍でも各種電子化は有効的な手段

問 橋本 議員

浄化センター委託料は、毎年約4400万円だが、実質的には赤字のため、それを減らす努力等、今後を見据えた取り組みが必要と考え、次の点について伺う。

① 東部3町広域連携の可能性は。

② 下水道事業を直営で管理運営しては。

③ 今後の下水道事業の維持管理を考え、職

問 下水道事業の今後は

答 様々な経費削減を行う

答 建設水道課 専門技師

④ えりも港付近の下水道の先遣地派遣や、講習会への参加は。

人件費を比較するなど、慎重に検討したい。

③ 維持管理費用削減の参考実例がないかを含め、必要に応じ先進地への視察等を実施していきたい。

④ 異常があつた場合は、担当者へ知らせる警報システムを設置している。

また、えりも港付近の最大津波高は約24mであり、全て浸水する予測となっていることから、抜本的な対策が取れていないのが現状である。

停電時の電源確保は、自家発電機を設置しており、3日間は稼働できる燃料タンクも設置している。



えりも港付近のポンプ室。更なる防災対策を



上野 陽司議員

問 学校行事のネット配信を

答 前向きに検討する

問 上野 議員

コロナ禍により、6月に学校が再開されたから、様々な行事が縮小または中止され、開催された行事でも、保

護者の参加が制限されている状況にあった。その配慮として、年度内に各学校の無線LAN環境が整備されるため、学校行事をネット配信してどうか。実現すれば、感染を警戒し人混みを避けている方、持病のある方も見ることが出来る。保護者以外でも、地域と関わりの深い小規模校は、地元の方々の視聴も可能になり、より関心を深めてもらうことができると思うが。

答 学校教育課長

学校が主導しネット配信を行うことについて、担当する教職員の配置や児童生徒の個人情報管理の問題がある。町内の各学校では、自校のホームページの充実に取り組んでいるが、児童生徒の顔写真については、公開してほしくないという肖像権や個人情報に関わる

声も寄せられている。今年度以降に整備される教育情報機器の活用と併せて、ネット時代の新たな提案であると捉え、「地域の方々による協力など、地域学校体制の一層の充実により学校運営上の課題解決」、「肖像権や個人情報の問題の解決を図る」などして、学校事情に合わせて前向きに検討するよう、校長会議や学校訪問などを通して伝えていきたい。



電子機器を使用した授業風景

問 町民体育館の温度管理は

答 10度を目安に室温管理



中野 公浩議員

問 中野 議員

町民体育館では現在、バレーボール、サッカー、野球など各スポーツ少年団が練習に励んでいるが、体育館の室温が非常に低いと聞いている。

子供たちの怪我を未然に防止するためにも、室温を練習開始前から上げる対応が必要と思うが。また第二体育館についても同様の対応が必要と考えるが。

答 社会教育課長

町民体育館の平日昼間は職員を配置し、夜間、土・日・祝日は業務委託によって管理している。

室温が10度を下回った場合は、使用開始3時間前を目安に電気暖房のパネルヒーターを動作させて室温維持を図っている。また、大会やイベン

トなどの開催時には、暖房器具の早朝稼働やジェットヒーターを活用するなど、室温12度から13度程度の維持に努めている。

部活動やスポーツ少年団では、防寒用の服装着用や怪我をしないための十分な準備運動を行って、寒さによる怪我の報告はこれまで受けていない。なお、管理人配置がない第二体育館は、各団体の責任による使用管理をお願いしながら利用いただいている。



町民体育館の使用時は適正温度に保たれている



竹内孝文議員

問 職員給与の学歴・前歴計算は

答 適切に行われている

問 竹内 議員

道内の町村で、人事院規則に定められている2年制以上の専門

学校卒業者を、短大卒業者ではなく高卒として計算し、初任給を本来の額より過小に支給していたと報じられた職員にとっては生涯賃金に多大な影響が出てくるが、町においても人事院規則に則った学歴・前歴計算が行われているか伺う。

①規則改正後、2年制以上の専門学校卒業者は何人採用されているか。その職員は高卒として計算されている事例はないか。

②疑義を持った職員等からの申し出があれば、再計算をする考えはあるか。

また、誤りがあった場合は是正する考えはあるか。

③過去に給与の再計算が行われていると思うが、その後採用された職員の再計算は行われているか。誤りを防ぐためにも再計算をする考えはないか。

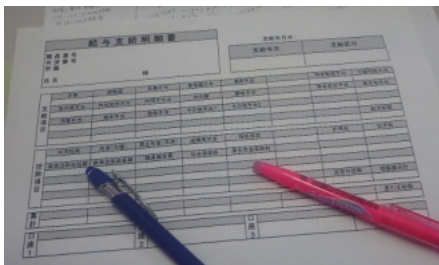
答 総務課長

①現在8名の職員が該当するが、高卒として計算されている事例はない。

②待遇に関するものであり、再計算の実施も含め適切に対応する。

③平成18年度に現行制度の給与制度となつて以降、再計算は実施されていない。

給与の決定に当たっては、複数の職員により慎重なチェックを行っているが、確認の意味合いから再計算の実施について検討したい。



給与算定の再確認を

問 事務的ミスにより生じた損失の責任は

答 説明責任を果たしていく

問 竹内 議員

「へき地診療所運営費補助」については全道13市町村15施設で算定ミスがあり、当町でも、平成26年度から平成30年度分の、本来交付されるべき交付金約9千3百万円について、交付見込みがない。事務処理に問題があったのは確かなことで、

再質問

結果として町は約9千3百万円、町民一人当たり約2万円の損失を被ったことになる。これだけの損失を出し、誰も責任を取らないのは町民の信頼を損なうことにならないか。任期中に一定の何らかの責任を果たす考えはないか。

答 町長

本来受けるべき交付金を受けられず多額の損失を発生したことは、様々な事情があったにせよ、重く受け止めており、誠に申し訳ない思いでいる。

今回の状況は大きな制度改正があり、指導的立場にある北海道から、もう少し丁寧な説明があつて当然で、北海道にも重大な問題があつたのではないかと、13市町村全ての自治体がそのような認識を共有している。

答 町長

町長の説明では北海道に責任を転嫁しているように聞こえるが、町が9千3百万円の損失を被つたことを、議会だけでなく、町民に対しても何らかの経過説明が必要ではないか。

町政懇談会等の場で説明をしていきたい。



交付金の算定ミスがあつた国保診療所



神田 修議員

問 期日前投票を1階で

答 投票者心理とスペースを考慮し3階で継続

問 神田 議員

現在3階の議員控室で実施している期日前投票を1階に変更できないか。

ないか。体の不自由な方や高齢な方にとっては、とても大変さと不便を感じているのが実態と思う。

庁舎の構造やスペースの問題で困難な面もあると思うが、工夫して1階での実施を実現しては。

答 総務課長

平成15年の期日前投票制度開始以来、3階の議員控室を使用してきました。

投票所の設置には、投票者の利便性や投票の秘密が侵害されないこと、投票所の秩序確保のためのスペースなどが重要な要件となる。これらの条件を考えると1階会議室は狭いためスペース確保が困難である。

正面玄関ロビーは、2階エントランスホールや階段等の構造上、投票の秘密保持が不十分であり、かつ不特定の方々が出入りするために、秩序の十分な確保も困難となる。



1階ロビーに期日前投票所を配置出来ないか

また、期日前投票期間中は、海側階段使用禁止や投票記載台上部を囲うなどの方法を講じても、吹き抜け構造のため「上から覗かれる」という投票者の心理を払拭できない等の点から1階での実施は難しい。これまで通り車イスの配置と事前連絡による係員配置等で体制の充実を図りたい。

問 神田 議員

問 早めの公共交通整備を

答 既存の交通事業者との連携を含め町独自の交通網を検討

当町の高齢化率は10月1日現在、65歳以上で約33%、75歳以上が約16%であり、高齢化が今後さらに進むことが予想される。

町は、「利便性の良い交通手段の提供や交通弱者対策の公共交通

の在り方を模索するとともに、各種助成制度をもって交通事業者に助成金を支出し、その維持に努めている」と回答しているが、既存の交通事業者や町内の新規参入事業者、町がタイアップしてより良い公共交通を整備する考えはないか。

答 企画課長

町内の公共交通機関は現在、タクシーとJR北海道バスがある。

平成15年3月からは、広尾町と共同で庶野・広尾間の運行をJR北海道バスに委託している。また、タクシー事業も平成27年度から補助金交付で維持している。

公共交通以外では、スクールバスや高齢者無料送迎バス、浦河町へのリハビリ通所送迎事業、透析移送事業などを独自で行っている。現在、管内7町でJ



公共交通の在り方を考える

R日高線の代替バス路線の4月1日運行を目指して、JR北海道やバス事業者との協議を進めている。この路線の方針確定後、町独自の新たな地域交通網の整備について、既存タクシー事業者、スクールバスや福祉バスとの連携を含め、財源確保や既存のバス運行事業者への影響などを考え検討する。



高松 亮裕議員

核のごみ最終処分場応募 に対する町長の考えは

問 高松 議員

後志管内寿都町と神
恵内村では日本で初め
て原発から出る高レベ
ル放射性廃棄物、いわ
ゆる核のごみの最終処

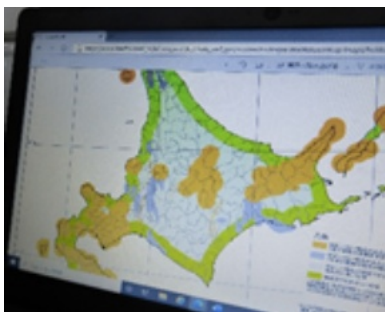
答 一切受け入れる考えはない

分場選定に向けた文献
調査が始まった。
テレビでも住民説明
会の様子が盛んに報道
されたが、真剣に反対
を訴える町民に対する
町長の答弁を聞いて不
快感を覚えた。
結局、住民投票も行
われず町長の独断で進
められたという印象が
強く、町長の考え一つ
で物事が決まっていく
その権限の強大さに改
めて脅威を感じた。
振り返ってわが町も、
国が示した処分場の適
地に含まれており、町
長はこの核のごみ処分
場に対してどのような
考えを持っているか。

答 町長

それぞれの町村の事
情もあり受け入れたこ
とへのコメントは差し
控えるが、ただ、継続
的な交付金ではなく、
2か年で最大20億円と
いう多額の交付金でま
ちづくりをした場合、

さらにまた交付金を必
要とし、なかなか後戻
りは難しいと考える。
国や道、各報道機関
からのアンケートに対
し、「わが町は漁業と
観光のまちであり、国
立公園化を目指してい
ることや千島海溝地震
による大津波などを考
えると、核関連施設は
到底受け入れ難い。核に
限らず風評被害や悪影
響のあるもの、町民の
理解を得ることが難し
いものは一切受け入れ
る考えはない」と回答
している。



経済産業省のホームページには、えりも町も核のごみ最終処分場の適地として掲載

虐待から子供の命 を守るための体制整備を

問 高松 議員

近年、幼児や児童虐
待の報道が目につく。
もっと早く対応して
いけば幼い子供の命が
救えたのではないかと
常に反省として聞こ
えてくるのは「市役所
内の各部署間や児童相
談所などの関係機関と
の連携不足」という言
葉である。

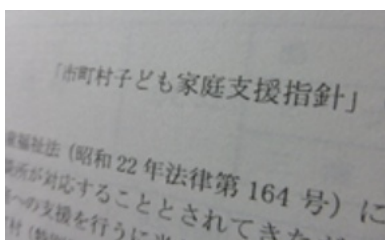
答 迅速かつ慎重・的確に 対応していきたい

そこで、虐待から子
供の命を守るために次
の3点について伺う。
①住民から通報があつ
た場合、迅速に対応す
るための条例やマニユ
アルの整備は。
②町内外の関係機関
で構成する地域協議会
での定期的な協議は。
③職員研修や専門職
の育成は。

答 町民生活課長

幸い町内では大きな
事案は発生していない
が、情報や相談があつ
た場合、迅速かつ慎重・
的確に対応しなくては
ならないと考えている。
①条例は設置してい
ない。マニュアルは町
独自ではないが、厚労
省の「市町村子ども家
庭指針」、文科省の「虐
待対応の手引き」を参
考とし、事例と照らし
合わせ対応している。
②児童福祉、保健医
療教育、警察などの関
係者と「えりも町要保

護児童対策地域協議会
を設置し、情報交換や
事例の総合的な把握に
努めている。
③専門職は配置して
いないが、町民生活課
と保健福祉課が児童福
祉や母子保健の観点か
ら連携・対応している。
また、児童相談所が
主催する研修会等に参
加し、知識の習得や事
案発生時の支援方法な
どの専門性を養ってい
る。
今後も保育所、健診
や予防接種の場で親子
の様子を観察し、事件
が発生しないように対
応していきたい。



厚労省から178ページに及びガイドライン「市町村子ども家庭支援指針」が示されている



大坂 庄吉議員

問 パークトイレの改修を 答 全面改修を含め検討

問 大坂 議員

パークトイレは、部分的修繕を行っているが、和式であることや換気が不十分で悪臭がただよい、不快だとの声が聞かれる。観光地えりものイメージ低下が懸念されるので、全面的な改修の考えはないか。

答 産業振興課長

灯台公園のパークトイレ「スマイル」は、オープンから30年経過して老朽化が進み、電気系統や水回りなどに不具合が発生している。最近では、利用者の異物廃棄によるトイレ詰まりの発生も多く、対応に苦慮している。

当該施設は、公園でのイベントや観光客、えりも駅利用者、漁業関係者などの利用も多く、今後も日高山脈襟裳国定公園の国立公園化を控えているため、利用者が不快に感じないよう、全面改修を含め検討する。



老朽化が進むパークトイレ

問 大坂 議員

「子どもと高齢者にやさしいまちづくり」をスローガンに、その実現を目指して町政を執行し3年半が経過した。

問 1期目の評価と今後の方針は

答 町政執行に向けて新たな決意

答 町長

① 1期目の任期も半年を切った現在、2期目も期待される所だが、これまでの町の行財政運営をどのように評価しているか。
② 今後どのような町政の執行に当たっているのか。

①最後の一年の今年、新型コロナウイルスス禍の対策と対応に追われた。多くの行事や事業などの中止、多大な影響を受けた宿泊・飲食店等への給付金支給、自粛による我慢を強いられた町民への応援商品券や水道基本料金の減免など、様々な支援を実施できた。

②今後どのような町政の執行に当たっているのか。また、従来からの継続事業の水産業や農業、商工観光、教育の取り組みは、規模や事業量を低下させずに、漁業資源の充実や漁場の環境整備、肉牛子返し制度貸付支援やGIGAスクールネットワーク整備も行った。その他、小中学校の給食費半額助成、スクールバス利用による高校生通学費の軽減、高齢者と高校生以下のインフルエンザ予防接種費の無料化、透析治療者や妊婦の通行止めに伴う通院宿泊費助成、養豚企業の誘致なども実現できた。

大変厳しい状況下で財政健全化が求められ、3年間予定の事業を執行しながら、地方債の削減と基金の積み増しを図れたことで、公約の7/8割が達成できたものと思っている。
②これまでの取り組みや事業を維持しながら、喫緊課題の庶野小学校の完全給食実施に向けた、えりも小学校給食施設の改修計画を図りたい。



1期目を総括し2期目の出馬を表明

所管事務調査

総務文教常任委員会 委員長 成田一人
 副委員長 笹谷廣喜 委員 橋本維広
 神田 修 上野陽司
 産業民生常任委員会 委員長 高松亮裕
 副委員長 渡部 泰 委員 大坂庄吉
 竹内孝文 中野公浩
 議長 石川昭彦

調査日 令和2年11月2日（月）

新型コロナウイルス感染症対策事業について

当町でも各世帯へのマスク配布、子育て応援券の支給など多くの対策を行っているが、その中で主に事業者向けの8つの対策事業について説明を受けた。

感染拡大防止の観点から、換気機能付きエアコンの購入補助を行っている市町村もあり、当町も飲食店に対しての購入補助や学校、保育所にも設置を検討してほしい。

今後も状況を注視し、国の交付金を待って対応が遅れないよう、基金の取り崩しを行うなど、迅速な対応を願う。また、本年度は中止行事も多いが、感染を防ぎながら開催する方法も模索してほしい。

《調査対象事業》

- ①漁業者・②畜産業者・③商工業者・④宿泊業者等に対する事業継続支援給付金
- ⑤飲食店等に対する感染拡大防止協力金
- ⑥宿泊業・飲食業等に対する感染拡大防止支援補助金
- ⑦えりも町応援商品券事業
- ⑧PRコンテンツ動画制作事業

防災対応について

①自主防災組織は現在、2つの自治会が組織化し、検討中の自治会が2つある。引き続き組織の立ち上げに向けた取り組みを進めていくとのことであった。

②防災行政無線は令和3年3月に着工し、令和4年度の完成予定である。約7億5000万円の費用がかかり、従来よりも広範囲に伝達可能なスピーカーで、戸別受信機も全戸に整備されるとの説明を受けた。

③防災品の備蓄状況は、従来品に加え感染症対策としての簡易テントや屋外用災害トイレなども準備が進められている。

えりも岬・庶野両地区の備蓄施設を視察。えりも岬の防災倉庫が傾き、地震等の際に機能できるのか不安であり、倉庫の状態を確認してほしい。保存食は消費期限も適切に管理されており、期限が迫った食料は防災教育に活用しているが、今後も継続し、町民の防災意識の向上に役立ててほしい。



傾いている岬地区の防災倉庫。状態の確認を

追分峠作業路新設事業について

追分峠頂上付近の無名橋解体に伴い、旧肉牛牧場へ至る代替道路として工事が進められ、すでに既設道路と接続している。

現地を確認したが、全体的に急勾配で一部道幅が狭い箇所がある。

安全面に十分配慮し、危険のない道路が完成することを強く望む。



追分峠作業道は、急勾配のため通行時は十分注意

※紙面の都合上、抜粋して掲載しています。

この人に聞く

えりも町商工会事務局長
かわむら よしひろ

川村 佳弘さん



Q 趣味は？

A 旅行、ドライブが好きで自分で旅程を考えるのが楽しみです。

Q えりもの思い出は？

A 学生時代には夏休みにえりも駅でアルバイトをしていました。まだ宅急便のない時代で国鉄は小荷物等の取扱いもしていました。

えりも駅が現在の日高信用金庫の場所から今の場所へ移転した時に引越しを手伝い、大きな金庫を運んだことを思い出します。

Q 商工会事務局長に就任しての感想は？

A 前職の日高信用金庫でも地元事業者への相談・支援を行っていましたが、商工会は、会員事業者とともに

に考え、支援することで更に深い関係にあると思えます。

Q コロナ禍での商工会の取り組みは？

A 年度当初に計画していた講習会、セミナー等を中心・延期することとなりました。

町内事業者支援、消費喚起策としてプレミアム商品券を前倒して販売し、えりも町応援商品券事業を受託しました。また、北海道の補助を受けてスタンプラリーを実施しました。

商工会員へ国や北海道の施策である給付金・協力金を

今回の「この人に聞く」は、えりも町商工会事務局長の川村佳弘さん。えりも町出身。浦河高校、近畿大学工学部を卒業後、日高信用金庫に就職。平成14年から3年間えりも支店に勤務。平成31年に定年退職。

(取材・橋本)

の周知を行うとともに、申請の支援を行いました。

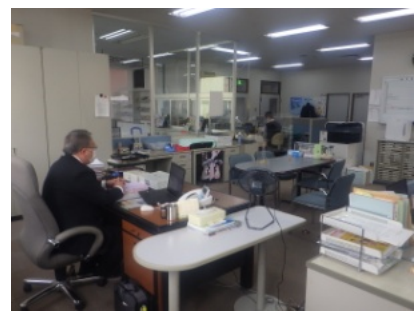
Q これからの展望等は？

A コロナ禍が終息した時に全ての事業者が日常を取り戻し、イベントが開催され活気のある町に帰ることを願っています。

国立公園の指定、映画の製作等まだまだチャンスはあると思います。

町内事業者の事業承継、新たな分野への挑戦等を支援していきます。

まず商工会に相談してく



ソーシャルディスタンスを保ちながら業務を行っていました

(お忙しい中ありがとうございました。)

議会の動き

11月2日	二常任委員会合同 所管事務調査
11月30日	第5回臨時会
12月11日	議会運営委員会
12月12日	東洋小学校閉校 記念式典
12月18日	全員協議会 第6回定例会 広報広聴常任委員会
12月25日	日高東部消防組合議会 日高東部衛生組合議会
1月15日	広報広聴常任委員会
1月21日	広報広聴常任委員会

新型コロナウイルス感染症対策によって中止になった主な行事

- ・1月に予定していた行事
- ・えりも町消防出初式
- ・えりも町成人式
- ・えりも町つけものコンクール

編集後記

コロナ禍による緊急事態宣言の中でスタートした令和2年度も残り2か月。混乱の中で学校が始まったのが6月1日。

夏休みも授業をする異例の事態となった。

数々の行事が縮小や中止、保護者や家族も落胆した。

小6、中3、高3は、その中心・主役となるはずであったのに・・・。

来月には小中高校、それぞれ卒業式を迎える。

当たり前のことが当たり前にできなくなり、我慢、自粛の毎日、この苦難を乗り越えた経験は、決して無駄ではない。

コロナも何もない「えりもの春」は、きっと来る。

(上野)

広報広聴常任委員会委員

- 委員長 橋本 維広
- 副委員長 高松 亮裕
- 委員 竹内 孝文
- 委員 神田 修
- 委員 上野 陽司